



No.34 (通No.113) 2024年2月4日

てつがく なかにわ

## LEE'S レター 哲樂の中庭 2024年立春

季節のごあいさつに代えてリーズからおとどけするただ一つの通信

「ひと言」で一瞬に表れる…

長年指名手配されていた人物の、『**最期は本名で**』。ニュースでこのひと言を聞いたとき、誰も逃れられない、いろいろを削ぎとった最終的な人間の側面、人生の悲哀のようなものが伝わってきました。

長年家事専門につとめた女性の、『**右から読む本を、左から読まれているようなほど、わからない**』。ビジネスの世界に復帰してみると、ぱつぱつと、論理的に、仕事の話がされても、頭がついていかない。そんな自分に困惑したそうですが、その程度がよくわかる!

「バブル崩壊で「億ション」が廃墟同然になったと聞いた人の、『**そうか、億ションが、ハワション! になったわけか**』。大笑したのは一人だけ、他は天を仰いでいましたとき。

## 『小説家から学ぶ…』

小説家の遠田潤子さんをお迎えして、セミナー「**夢をかたちにする方法—小説家から学ぶ思考整理のコツ**」が開催されます。受講定員は70名、身近に小説家の方のお話を聴けるのは希!

●日時: 2月24日(土) 13:00-

●場所: クレオ大阪中央館



LEE'S (リーズ)

〒541-0046

大阪市中央区平野町1-7-1

堺筋高橋ビル5F Tel. 06-7164-0937

大阪 NPO センター RS B507

リー・ヤマネ・清実

Lee Yamane Kiyomi



## “Perfect Days” と “レイトワーク” と

旧知の方から優待券を頂戴し、年末に映画『Perfect Days』を観ました。

主人公の過去に何があったのか、黙々と公衆トイレ掃除の仕事をする熟年の〈青年〉。ささやかな、ささいな日常の喜怒哀楽が静かに描かれます。

見終わった時よりも、時間がたつほどに余韻がうまれて、年明けも中旬まで毎夜、ルー・リードの「Perfect Day」、ニーナ・シモンの「Feeling Good」を繰り返し聴いていました。

昨年3月に逝った「大江健三郎」(1935年生)は自身の2000年からの創作活動を「レイトワーク=後期の仕事」と称したそうです。

「レイトワーク=後期の仕事」という言葉、概念は、友人でもある批評家の「エドワード・サイード」(1935年生)によるもので、2002年の春先だったか、「久米宏」の「ニューススターション」に出演した時、そう話していました。

ざっくり「レイトワーク=後期の仕事」とは、〈前期〉のキャリアを昇華あるいは異質なものに発展させ、探究して、人のためになる仕事を続ける。そんな風に解釈し、自分自身にもあてはめました。

新年元日の夕方に能登で大地震、翌日は羽田空港で航空機炎上、三日には小倉の商店街で大規模火災。「コロナ」時の、「世の中、何が起こるかわからない」が一気によみがえりました。

小さな喜び、受け流せる怒り、いとおいしいような哀しみ、つかの間の楽しみ、それらが散りばめられ日々こそ、しあわせ、「Perfect Days」。平凡も平和も、途絶えて際立つ、貴重さ。

“Perfect Days”、それさえあれば十分ではないかと問いつつ、趣味もふくめ、自身の“レイトワーク”をたどり、注力して、それぞれの“Perfect Days”をPerfectにする。そんなこんなことを考えた、2024年の始まりです。

## | 見聞感考 | あああああ…、「スヌン」狂詩曲

年末に韓国の大学修学能力試験(修能・スヌン)を紹介するテレビ番組を見ました。たまたまチャンネルが合ったのですが、見終わって思わず、「ああ 子供たち、大変…」。

2010年秋に韓国の地方大学3カ所の日本語学科でプチ講演したことがあります。日本留学中に韓国語を教わった先生に「遊びにいきます」と韓国への旅を知らせたら、それなら大学に来て日本の就職事情を話して、と頼まれたのです。

先生の大学だけと思って行ったら、他校の友人先生二人にも声をかけていて、プラス2校でも話すことになっていました。えー?! という感じがですが、車も用意してあって準備万端。「遊びにきたはずなんだけど…」と思いながら、回ってきました。後になって思えば、いい経験でした。

韓国の民主化は1987年、大韓総から42年も後になってしまいました。1997年のIMF通貨危機は10年目の一つの試練。この時に外のカチ国内の構造改革を進めることになったと先生も話していましたが、でも風土や文化というのはそう簡単に変わるものではない。また10年か過ぎて、いびつな競争社会が目に見えてきたタイミングだったのだらうと思います、2010年といえは。

学生たちの切迫感や印象にのこっています。寄ってきて、TOEICは必須か、何点以上が必要か、持っていて有利な資格は何か、など等。今はもう、第一線で一番よく働いている年齢、熾烈な競争社会で頑張りすぎているかもしれません。

このままでは疲弊、民主化から50年まであと10年余り、そろそろ次の50年の伏線か。